

第38回 日本環境感染学会総会・学術集会 参加報告

ICT・小児科 古島わかな



7月20日から22日まで、日本環境感染学会総会・学術集会がパシフィコ横浜で開催されました。この学会は、感染対策に関心を持つ医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師・事務職と多職種が対象で、とても大規模な集会です。21の教育講演、33のシンポジウム、12のパネルディスカッション、16の企画講演、ポスター発表等、多数の演題が15会場で同時進行で発表され大盛況でした。

新型コロナは、いつでも出会い得る感染症として日頃から対策を継続するスタンスでした。新たな概念として広まった「エアロゾル感染」は、世界各国で知見が蓄積されつつある段階であり、対策についても今後も見直しが続くだろうとのことでした。エアロゾルはタバコの煙をイメージするとわかりやすく、ふわふわ漂い、密閉空間ではいつまでも留まります。風で動きを変え流されて除去できるため、空気の流れ、換気が有効です。いわゆる「エアロゾル産生手技」とされる医療行為よりも、咳・くしゃみ、大声を出す、歌う等の日常の行為の方が、むしろ多量にエアロゾルを発生するとの話もありました。病院空調のガイドラインも改訂されたところであり、快適な環境の提供も含めたより望ましい換気方法を検討していきたいと思います。

オミクロン株への置きかわり以降、ワクチン接種者における重症肺炎は稀となった一方で、「オミクロン喉頭炎」への注意喚起がありました。のどの腫れにより急激に窒息（に近い状態）となり、救命のために緊急の気道確保が必要になりますが、酸素の数値は気道閉塞の直前まで低下しません。のどの痛みを訴えられない利用者さんでは、喉頭炎の罹患も念頭に置いた経過観察が必要と再認識しました。

最近、保険適応が拡大された带状疱疹ワクチンの話題もありました。带状疱疹は、水痘に罹患した人の体内にウイルスが潜んでいて、免疫力が低下した時に、神経に沿って痛みを伴う発疹を生じるものです。発疹消失後に3か月以上も痛みが続く、带状疱疹後神経痛を合併することもあります。加齢により発症リスクが高まるため50歳以上が接種対象でしたが、このたび「基礎疾患や治療により発症リスクが高い18歳以上」も対象に加わりました。複数の自治体で新たに接種助成が行われるようになっていきますので、ご自身の自治体の状況を確認し、接種を検討するとよいかもしれません。

オンデマンド配信も始まりましたので、さらに情報収集し、院内感染対策に反映していきたいと思います。

〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第548号 発行日 令和5年8月31日



夏の企画 ～水辺の夏を感じよう！～

生活療育支援科 永野朋子

生活療育支援科では、7月26日（水）と27日（木）に「夏の企画」を開催しました。テーマは、「水辺の夏を感じよう！」です。

多目的ホールでは、「海の底を歩いてみよう！サーフィンに乗ってみよう！」体験にチャレンジ。手前は暗い部屋。スクリーンにも、天井にも、そしてバブルチューブの中にもクラゲ。ゆらぐライトで照らされた、深海を思わせる雰囲気の良い静かなキラキラな世界。天井の映像にくぎづけの方もいらっしゃいました。

その世界を通り抜けると、スクリーンに大きな波が映し出され、サーフィン体験コーナーが中央に現れます。スロープを使いサーフィンボードの揺れる空間で、波に合わせて揺れていきます。いつもとは違う揺れる感覚に笑顔や少し驚いた表情も見られました。写真スポットもあり、「マーメイド」「ハワイアン」「大谷翔平さんとのツーショット」と待つ時間も有効に使いました。iPadを使って撮影したものは、大画面のテレビや手元でも見ることができ、笑顔が多く見られました。

「海の家～海辺で遊ぼう！触ってみよう！」では、この猛暑のため水遊びコーナーの場所を、テラスから活動室3に変更。プールに水を入れ、中にあるヒトデやクラゲ（本物ではありません）などの感触を手元のボールにすくって感じてもらい、水の感触にウキウキわくわく。スクリーンの映像から流れる景色や曲を楽しんでいただきました。古代魚「サカバンバスピス」は見つけれましたか？

活動室5ではレトロな海の家を天井や壁に吊るされた浮き輪などで演出。海の生き物、イセエビや動く魚が網からはねて歓声が上がり、なまこを模したスライムや貝殻、はてなボックスから光るウニなどに触れて楽しみました。そしてビール（瓶だけですが）、枝豆（府中けやきの森学園くぬぎ分教室直送）が並んだお店から、時々香る「やきもろこし」の香ばしい醤油のにおいに誘われ入って来る方もいらっしゃいました。

海辺に来た感覚になっていただけていたら幸いです。



きらめく深海の世界



海の家を満喫

7月 夏祭り

1 B病棟 小嶋映子



7月28日夏祭りを実施しました。感染対策のため全員集合はせず、グループごと（4～6人）に参加しました。水鉄砲でヨーヨーを打ち落とし、そのヨーヨーを使ってワニの口に投げ入れるゲームをしました。職員の手添えで紙テープに吊るしてあるヨーヨーに向かって水鉄砲を撃ちましたが、すぐに落ちてしまったり、また反対になかなか落ちず必死で打ち落としたりとそれぞれ笑顔で楽しんでいました。

ワニの口への的入れでは、手で投げ入れたりヨーヨーを落としてもらった景品（うちわ・カップ）を使って投げ入れようとしたり工夫がみられ、ワニの口に入ると盛り上がっていました。最後に光るブレスレットをもらい腕につけてもらうと自慢気な表情の利用者が多くみられました。一同に集まっての実施はできませんでしたが、季節を感じながら利用者の笑顔が多くみられた夏祭りでした。



8月のお楽しみ会

2 C病棟 島田久雄



8月2日に2C病棟では招待観劇として、バイオリンとビオラの演奏を楽しみました。ダイルームでソーシャルディスタンスをとりながら実施しました。演奏者の方は、世界の舞台上で演奏するほか、国内でもNHK交響楽団での演奏や作曲活動などもしているとのこと。にも関わらず、そうしたコンサートでは演奏しない曲も何曲か私たちのリクエストに応じて演奏してくださいました。また、バイオリンとビオラの違いなどのお話もしてくださいました。



演奏が始まると、目を閉じて聴き入ったり、手足でリズムをとったりして聴いている利用者の様子が見られました。聴きなれているはずの曲も、目の前の生演奏と世界的な演奏技術で感じるものがあつたのではないのでしょうか？ 楽しい時間は過ぎるのが早く、あっという間の「8月のお楽しみ会」でした。利用者のたくさんの笑顔で、楽しい夏のひとときを過ごせたと思います。

栄養科 行事食(山の日)

栄養科 近藤映美

当院では、誕生会メニュー（毎月第4水曜日に実施）や、季節を感じられるような行事食を提供しています。8月11日（金）の山の日には、夕食にハワイをイメージしてパイナップルとマンゴーを使用したお食事を提供しました。

今回は、「ポークソテー ハワイアンソース」をご紹介します。



— ポークソテー ハワイアンソース —



ハワイアンソース
生パイナップル・白ワイン・スープを用い、塩で味を調えて作った爽やかなソースです。

調理の工夫
豚肉は、やわらかく仕上がるように、生パイナップルの絞り汁につけます。パイナップルの「パパイン」という酵素の働きでお肉がやわらかくなります。

豚肉をパイン汁につけている様子…



MENU

<一口大食>



- 軟飯
- ポークソテー ハワイアンソース
- キャベツとトマトのサラダ
- コーンポタージュ
- マンゴー

<やわらか食>



- 全がゆ
- ポーク真薯 ハワイアンソース
- キャベツとトマトのサラダ(ゼリー風)
- コーンポタージュ
- マンゴー